

## 2017 年度「研究者の横顔」 谷口 浩二先生

### 1. 研究者になろうとしたきっかけ

臨床医として勤務するうちに、がん研究に興味を持ちました。

### 2. 助成研究の内容紹介

「炎症」が消化器がんの発生や進展にどのように関与しているかのメカニズムを明らかにしたいと考えています。

### 3. 2 の将来に繋がる結果予想

研究結果をもとにした消化器がんの新しい治療方法の確立を目標にしています。

### 4. 全国の RFLJ 関係者に一言

がん研究とがん治療の進歩に少しでも貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。